

課題解決支援と 資料収集について



岡山県立図書館サービス第一課児童資料班 朝倉省子

まず、 課題解決支援とは

◎ 文科省(公共)図書館の振興

「地域の情報ハブとしての図書館 課題解決型の図書館を目指して」より

「これからの図書館は、従来のサービスに加えて、これらを始めとするサービスや情報提供を行うことによって、**地域の課題解決**や**地域の振興**を図る必要がある。」

自立を目指す個人を支える

地域の自立を促す

図書館

①ビジネス支援 ②行政情報提供 ③医療関連情報提供
④法務関連情報提供 ⑤学校教育支援(子育て支援) ⑥地域情報提供・地域文化発信

個人

企業

関係機関

図書館

県立図書館の取り組み

ビジネス支援サービス

ビジネス・仕事に役立つ資料・情報の提供や、創業相談会などの講座を行っています。

→ビジネスに関する情報はビジネス支援サービスのページへ

法情報提供サービス

法律関係圖書の紹介、法テラスとの連携による講座などを行っています。

→法律に関する情報は法情報提供サービスのページへ

その他の取り組み

- 放送大学と「医療・健康」に関する連携講座の開催
 - 「若生駒の真しよケア」(平成29年9月8日)
 - 「電子力活用を学ぶ一歩訓練・放射能の正しい理解を求めて」(平成29年8月21日)
- 行政との連携展示の実施
 - 「「はっちゃん」モタモタ生活リズム向上キャンペーン月間」(平成29年11月/県生涯学習課と連携) (展示の様子 フォトリスト)
 - 「岡山で活躍するスポーツチーム」(平成28年11月~12月/県スポーツ振興課等と連携)
- 食と健康に関する商用データベース(レラール電子図書館)の提供
- デジタル岡山大百科のデータベースの充実 (レファレンスデータベース、郷土情報データベース)

<21年度以前の事例>

その他にも、県民生活を支援する活動を展開してきています。

岡山県立図書館 (TEL 086-224-1286)。(※岡山県立図書館ホームページへリンク)

<貧困・困窮者支援><就業者支援・ビジネス支援>
・常設コーナー(会社情報コーナー:会社年鑑、業界情報、CSR報告書などを配架) の設置。

- ・起業・就職・資格に関するパンフレットを収集、配布。
- ・おかやまインキュベーター協議会と共同主催で専門相談員による相談会「創業(ビジネス支援)相談会」を開催。
- ・関連機関と連携して、起業支援事業を開催。(ブレインキューベーション)

<医療・健康情報>

- ・図書館のテーマ展示「メンタルヘルス」及びブックリストの作成。
- ・放送大学と「医療・健康」に関する連携講座の開催。
- ・食と健康に関する商用データベースの提供。

<福祉情報>

- ・高齢者の生活に関するテーマ別ブックリストの作成、配布。

<法務情報>

- ・法テラスから講師を招いての講座の開催。
- ・新着法律関係書ブックリストの作成・配布。
- ・判例・法令等の商用データベースの提供。

<その他>

- ・デジタル岡山大百科のデータベースの充実。(レファレンスデータベース、郷土情報データベース)
- ・子育て支援展示「子育てのススメ」の実施。
- ・行政との連携展示の実施。(「教育の今を考える」「男女共同参画推進」)

学校教育と学校図書館

◎ 学校図書館は法律に基づいて設置されている。

(学校教育法施行規則第1条)

(学校図書館法第1条、第3条)

◎ 学校図書館の目的は教育課程の展開と、児童・生徒の教養の育成に役立つこと。(学校図書館法第2条)

◎ 利用者は生徒及び教員であるということ。

(学校図書館法第2条)

いま求められている 学校教育とは

新学習指導要領【生きる力】

◎ **基礎・基本を確実に身に付け、いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力**

第15期中央教育審議会第1次答申

「21世紀を展望した我が国の教育の在り方について」(1996) (第3章第3節)

◎ **図書資料の充実のほか、さまざまなソフトウェアや情報機器の整備を進め、高度情報通信社会における学習情報センターとしての機能の充実を図っていく必要がある**

平成17年中央教育審議会答申

「我が国の高等教育の将来像」(2005) 21世紀を「知識基盤社会」と位置付けている。

◎ **新しい知識・情報・技術が政治・経済・文化をはじめ社会のあらゆる領域での活動の基盤として飛躍的に重要度をます社会**

いま求められている 学校教育とは

①変化する社会に対応する教育

・自分で情報を集め、調べ、判断し、自分で決める力を身につける

学ぶ意欲

②情報化時代に対応する教育

・自分の要求に合わせて情報を利用し、自分の情報を正しく創造し、差別化力を

情報を評価
選択・活用

③国際化時代に対応する教育

・自分で調べて学んだこと(意見や判断)を相手に伝える力を身につける

コミュニケー
ション

「主体的に生きる人を育てる」教育が求められている！

いま求められている 学校図書館とは

知的好奇心を刺激し、思考に幅を持たせるような良質で
選択可能な素材

図書収集

授業

選択可能で、広範な世界に組織的につながっていて、
どこまでも探究できるという可能性を実感できる場所

学校図書館

学びの意欲が倍加

いま求められている 学校図書館とは

学校図書館が学習・情報センターとしての機能を果たすためには

①学校の教育計画を熟知していなければならない。

知る

②学校全体の共通理解と協力によって整備を進められなければならない。

共通
理解

③学校の教育・経営計画の立案への参画、年間計画及び長期
計画の立案にも参画する必要がある。

参画

いま求められている 学校図書館司書とは

文科省 子どもの読書サポーターズ会議

「これからの学校図書館の活用の方策等について(報告)」(2009年3月)

○学校図書館の活用高度化に向けた視点と推進方策

「教育委員会による条件整備・支援の現状と課題」の項

「学校図書館の業務の専門性を考え合わせると、専門的な知識・技能を有する担当職員である、いわゆる「**学校司書**」の役割が重要となる」

従来より高校に配置されている**学校司書**については、「**学校の教育活動全体に寄与するような役割を十分果たし得ていない**」との指摘も。

学校図書館の持つ特性

- **利用者の年齢、環境が似通っている**
- **利用者が具体性を持っている。**
- **利用者とは何度も会うことができる**
- **利用者とは「教える」「教えられる」の関係が築きやすい**

⋮

生徒・教員が持っている

では、
課題とはなんだろうか。

	生徒	教員
教科学習の課題	模試で出た小説の続きが読みたい。(国語)	数学を使ったパズルの問題(数学)
総合学習の課題	職業調べ	岡山県調べ
学級活動 学校行事 部活動 進路指導 の課題	コンクリートや繊維、金属、プラスチックなどの材料について(進路)	まちづくり・まちおこしに関する資料(進路)

学校図書館の
課題解決支援とは

課題解決支援機能の充実には①

◎生徒・教員の抱えている課題を的確にとらえること

⇒少し意図的に、教職員視点でニーズを探ってみませんか。
学校の教育計画は大きな手がかり。

シラバスを見た事ありますか？
教育関係のキーワードを知っていますか？
ex.) キャリアデザイン(キャリア教育)
学び合い、エンカウンター、ピアサポート
PISA、OECD

学校図書館の
課題解決支援とは

課題解決支援機能の充実には②

◎サービスの充実(貸出、レファレンスなど)
打ち合わせをしっかりと
今までやってきたサービスに

+αを

⇒関連資料の案内図やサインの整備、
テーマ別資料コーナーや展示コーナーの設置、
文献探索・調査案内(パスファインダー)やリンク集の作成など

⇒テーマ別資料コーナーや展示コーナーを設置したら、
データの場所区分を変更しよう。
どこに何があるかが明確になっていることは基本です。

学校図書館の
課題解決支援とは

課題解決支援機能の充実には③

◎自校資料だけでなく、ネットワークを駆使して地域
資料や行政資料など広範囲に調査・収集

⇒県立図書館をハブとして利用しよう

学校図書館の
課題解決支援とは



資料紹介・調べ方ガイド

調べ方ガイド Business Support

- 企業情報を調べる
- 業界情報を調べる
- 人物・団体情報を調べる
- 統計情報を調べる
- 法廷情報を調べる

ビジネスサポート早分かりガイドマップ 1階2階 2階詳細

資料紹介

ビジネス関係書籍リスト (2019年作成)

テーマ別ブックリスト

- 会社・事業・お店の仕組みの本 (2010年作成)
- ビジネスに役立つプレゼンテーションの本 (2011年作成)
- 事業計画・ビジネスプランの本 (2012年作成)
- 会社の法律・法務・税務・会計の本 (2011年作成)
- 起業に必要なお金のこと・資金調達の本 (2012年作成)
- 起業準備のための本 (2012年作成)
- キャリアデザイン!の本 (2011年作成)
- ビジネス・コミュニケーションの本 (2011年作成)
- ビジネスに役立つソーシャルメディアの本 (2012年作成)
- ブランディング!と商品開発!の本 (2011年作成)
- マーケティングの本 (2011年作成)

学校図書館の 課題解決支援とは

課題解決支援機能の充実には⑤

- ◎ **学校教育における学習成果物の収集と共有**
生徒の学習成果内容は、以後の学習者にとっての学習参照資料になるだけでなく、教職員の教材作成のための参照資料となり得る。

⇒ デジタルアーカイブ化？
そうすれば、自校内だけでなく、地域間、世代間で情報交流できるのでは。

学校図書館の 課題解決支援とは

課題解決支援機能の充実には、
学校図書館が校内のハブになればよい



資料収集について

- ◎ 「図書館の目的」を忘れない。
- ◎ 利用者の期待やニーズが決定する。
- ◎ 予算、場所、権限などさまざまな制約があるが、それを嘆いていても始まらない。逆転の発想が必要となる。

蔵書構成とは

- ◎ 『図書館情報学用語辞典』
(日本図書館情報学会用語辞典編集委員編 第3版、丸善 2007年)

図書館蔵書が図書館のサービス目的を実現する構造となるように、資料を選択、収集して、計画的、組織的に蔵書を形成、維持、発展させていく意図的なプロセス



資料収集の留意点

「図書館の自由に関する宣言」(1979年改訂)

第1 図書館は資料収集の自由を有する

- 1 図書館は、国民の知る自由を保障する機関として、国民のあらゆる資料要求にこたえなければならない
- 2 図書館は、自らの責任において作成した収集方針にもとづき資料の選択および収集を行う。その際、
 - (1) 多様な、対立する意見のある問題については、それぞれの観点に立つ資料を幅広く収集する。
 - (2) 著者の思想的、宗教的、党派的立場にとらわれて、その著作を排除することはしない
 - (3) 図書館員の個人的な関心や好みによって選択しない
 - (4) 個人・組織・団体からの圧力や干渉によって収集の自由を放棄したり、紛糾をおそれて自己規制したりはしない。
 - (5) 寄贈の資料の受入れにあたっても同様である。

選択者の心構え

- ◎ 自館の蔵書内容を知っていること
- ◎ 出版情報など収集のための道具について知識があり、それを使いこなす技術をもっていること
- ◎ 現代の出版界のメカニズム、書籍販売についての知識、商取引の知識と技術、利用者の地域社会の状況、現代社会の今日的な課題についての認識などが要求される。

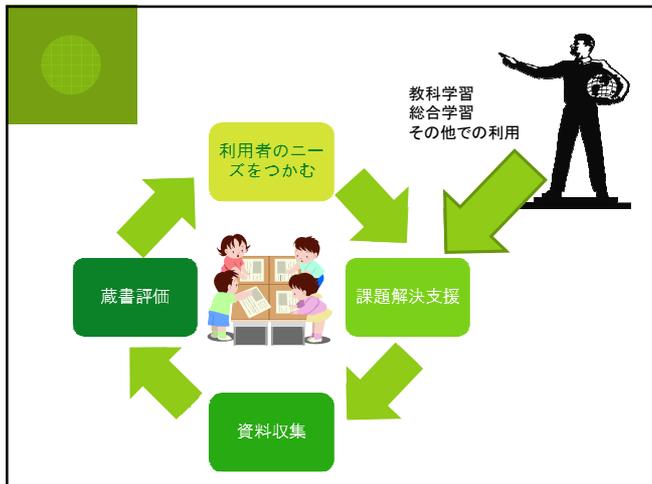
図書館が何をするとわかっていてる人
日ごろ、本を読む習慣を持っている人
カウンターで利用者と接する機会のある人

利用者ニーズとコレクションの形成

- ◎ **資料収集方針の見直し**
(蔵書構成の方針・蔵書形成方針・コレクション構築方針)
→その方針の基準として加えるべき考え方
- ①その図書館の奉仕対象とサービス活動が基本的にめざすところ
- ②図書館資料と知的自由との関連
- ③収集・選択の機構と決定にあたる責任の所在
- ④収集する資料の範囲
- ⑤利用者からの要求と蔵書に対する批判への対処法
- ⑥蔵書からの除去、廃棄についての基本的な考え方

蔵書評価

- ◎ 観察評価法
- ◎ チェックリスト法
- ◎ 蔵書統計分析法
- ◎ 基準の適用
- ◎ 蔵書密度評価法
- ◎ **利用統計分析法**
- ◎ **リクエスト分析法**
- ◎ **要求満足度調査**
- ◎ **館内利用調査**



参考文献

- 『教育改革の中の学校図書館』坂田仰編著、八千代出版、2004
- 『インターネット時代のレファレンス』大串夏身・田中均著、日外アソシエーツ、2010
- 『学習指導・調べ学習と学校図書館 改訂版』大串夏身編著、青弓社、2009
- 『学校教育と学校図書館 新訂版』塩見昇著、教育資料出版会、2009
- 『図書館ハンドブック 第6版』(日本図書館協会)
- 『改訂版図書館資料論』後藤暢、松尾昇治編 教育史料出版会
- 『資料・メディア総論 第2版』志保田務、山本順一監修著 学芸図書
- 『蔵書構成と図書選択 新版』河井弘志編 日本図書館協会 1998
- 『2008年度JLA中堅職員ステップアップ研修資料』山本昭和

